

インボイス実施延期の請願を提出

小規模免税事業者の営業とくらしを守れ

12月市議会定例会に、くらしと平和を守る日田地区連絡会（代表栗山崇）から、インボイスの実施延期を国に求める意見書の提出を求める請願が提出されています。全国でも地方議会から意見書の提出が広がっているだけに、審議の結果に注目が寄せられています。

請願の要旨は「消費税制で2023年10月から、仕入税額控除の要件として適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度の導入が予定されています。同制度が導入された場合、インボイス未登録の消費税免税事業者は、登録番号が発行できないために、課税業者との取引から排除されることや不当な値下げ圧力などにより、廃業を余儀なくされる懸念があります。

この制度は事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。また、免税事業者がインボイスの登録を

して課税事業者となれば、新たな消費税の負担をしいられることに加え、発行する請求書様式の変更、システムの入替え、改修など多大な事務や経費の負担が生じることになります。コロナ感染症や諸物価高騰の影響もあり、多くの中小零細事業者は過剰な債務を抱え、経営の立て直しを余儀なくされており、到底、制度導入に向けた準備ができる状況ではありません。

日本商工会議所や中小企業同友会など多くの中小企業団体や、税理士会、文化芸術団体、シルバー人材センターなど、広範

な団体や個人がインボイス制度導入の『凍結』『延期』『見直し』を求めています。小規模の業者に多大な負担を強いるインボイス制度の実施は当面延期することを強く要望します」と述べ、日田市議会として国に意見書を提出していただくよう請願しています。

9月末現在、全国289地方自治体から中止・延期などの救済を求める意見書が543件（一部重複）も提出されています。

インボイスが導入されたら...



12月議会の補正予算概要

今回の補正予算の額は11億3767万3千円で、補正予算後の額は407億6558万9千円となります。プレミアム商品券による経済対策、公共土木施設や農地、林道等の災害復旧費用、小中学校をはじめ各種施設の電気料金の上昇に伴う不足見込額の追加などを行なうものとなっています。一部の事業を掲載します。

事業名	事業費 (単位千円)	事業概要
地域消費喚起プレミアム商品券支援事業	281,198	感染症第7波の影響に加え、原油価格の高騰物価の上昇等の影響により、厳しい状況にある地域経済の消費拡大や活性化を図るため、プレミアム商品券を発行する。プレミアム率30%、令和5年3月から販売。紙商品券2億5千万円、電子商品券5億5千万円。
焼却施設等更新事業	107,163	新清掃センター建設用地内において埋蔵文化財の試掘調査を行った結果、本調査が必要となったため、委託料の増額補正を行なうもの
総合的な子ども支援拠点創設事業	18,656	子どもの健やかな育ちを関係機関が一体となって支援するための「総合的な子ども支援拠点」を整備するための実施設計費用を追加するもの
中津江地区福祉保健施設移転整備事業	70,044	資材費や労務費の上昇、施設の内装や規格の見直しなどをふまえた実施設計により、追加費用が生じたことから建設工事を増額するもの
複式学級解消教員配置事業 (市単独事業)	5,795	複式学級が当初の予定より増え、職員の追加配置が必要となったため、現状職員体制に必要な経費について増額補正を行なうもの
市民文化会館管理運営事業 (パトリア)	33,700	市民文化会館の駐車場の舗装について、経年による劣化が顕著となってきたことから、舞台設備の修繕時期に合わせて補修工事を行なうもの

訂正とお詫び
「明るい日田」NO 1623号（11月17日）で、生活保護費の住宅扶助費（家賃）について22,600円と記載しましたが、正しくは26,600円です。訂正してお詫びいたします。